

精神保健福祉援助技術総論Ⅰ

科目コード

CR3153



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
2	R or SR(講義)	2年以上	小野 芳秀

※この科目は、2012年度以降入学者に対して開設されている科目です。2011年度以前に入学した方は履修することはできません。

※2021年度より担当教員が変更になりましたが、レポート課題等に変更はありません。

※スクーリングを別教員（狩野俊介先生）が担当いたします。

科目の概要

■科目の内容

2012（平成24）年4月からの新カリキュラムにおいて、本科目は「精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）」にあたるものです。「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」ならびに「医療と協働・連携する相談援助の方法に関する知識と技術」を習得することが求められています。主な内容は様々な問題に対応する精神保健福祉士としての役割、相談援助の定義・理念・形成過程、他の専門職についての理解をした上での多職種との連携の仕方などについて学びます。「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」を学ぶ上での基盤となる科目です。

■到達目標

- 1) ソーシャルワーカーとしての倫理、役割を理解して説明することができる。
- 2) 精神保健福祉領域の歴史が説明できる。
- 3) 基本的原則を説明することができる。

■教科書（「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー3（第6版）精神保健福祉相談援助の基盤 [基礎][専門]』へるす出版、2017年 第1章～第3章Ⅱ（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を使用します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

精神保健福祉士の役割について、利用者に分かりやすく説明できる力を身につけて欲しい。自分自身への自己肯定感がもてるようになって欲しい。

■科目評価基準

レポート評価70%＋スクーリング評価 or 科目修了試験30%

■参考図書

- 1) F・P・バイステック著 尾崎新他訳『ケースワークの原則』誠信書房、1996年
- 2) C・A ラップ、R・Jゴスチャ著 田中英樹監訳『ストレングスマodelー精神障害者のためのケースマネジメント 第2版』金剛出版、2008年

※教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

スクーリング

※「精神保健福祉援助技術総論」（4単位）のスクーリング受講者は、同一年度に「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」（後半）と合わせてスクーリングを受講すること。

■スクーリングで学んで欲しいこと

- ・ソーシャルワーカーの基本的役割について理解してほしい。
- ・現代社会におけるソーシャルワーカーとしての精神保健福祉士の役割について理解してほしい。
- ・基本的援助技術について理解してほしい。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	精神保健福祉士の役割と意義①	精神保健福祉士の役割と意義、国家資格化
2	精神保健福祉士の役割と意義②	専門職としてのソーシャルワーカーの倫理
3	精神保健福祉士の役割と意義③	現代社会と精神保健福祉士
4	ソーシャルワークの定義と構成要素	ソーシャルワークの定義と構成要素
5	ソーシャルワークの理念	ソーシャルワークの理念（エンパワメント、ストレングス視点、社会正義など）
6	ソーシャルワークの歴史	ソーシャルワークの歴史的背景、形成過程
7	ソーシャルワークの理論①	診断主義と機能主義、生態学的アプローチ、医学モデルと生活モデル、相談援助の原理と原則、ジェネラリストソーシャルワーク
8	ソーシャルワークの理論② 質疑応答	グループワーク、コミュニティワーク
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

上記講義内容にそって、講義を進める。

■スクーリング 評価基準

授業への参加状況20%とスクーリング試験80%（持込可）で評価します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

テキスト第1章から第3章Ⅱまで読んでくること

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	精神保健福祉士の役割と意義① (第1章I A)	わが国のPSWの歴史の変遷と国家資格化の動向と意義について理解する。 キーワード：PSW、Y問題、宇都宮病院事件、当事者主体、自己決定の原則	歴史的事件を踏まえながら、精神保健福祉士の国家資格化の意義を理解する。
2	精神保健福祉士の役割と意義② (第1章I B)	わが国の精神保健福祉施策の歴史の変遷を様々な法改正から理解する。 キーワード：精神病患者監護法、精神病院法、精神衛生法、精神保健法、精神保健福祉法、障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健福祉法改正	精神保健福祉に係わる諸制度の変遷についてまとめる。
3	精神保健福祉士の役割と意義③ (第1章I C)	精神保健福祉士と社会福祉士の役割と専門性について理解する。 キーワード：社会福祉士、社会福祉士法、精神保健福祉士の役割、精神保健福祉士の専門性	精神保健福祉士の役割、専門性、課題について押さえる。
4	現代社会と精神保健福祉士① (第1章II A)	現代社会の特徴について理解する。 キーワード：雇用形態、人口構造、家族の変化、精神保健の現代的課題	現代社会の様々な変化と精神保健の課題について押さえる。
5	現代社会と精神保健福祉士② (第1章II B、C)	精神保健福祉士の活動領域と取り巻く社会状況を理解する。 キーワード：発達障害、司法領域の支援、学校領域の支援、自殺対策、産業精神保健、グローバリズム、チームアプローチ、ソーシャルアクション	様々な領域に拡大している精神保健福祉士の活動領域をまとめる。
6	ソーシャルワークの定義と構成要素① (第2章I A、B)	ソーシャルワークとは何かを成立過程及び定義から理解する。 キーワード：リッチモンド、定義、慈善組織活動、セツルメント運動、ソーシャルワークとは	ソーシャルワークの歴史的成立過程と定義を把握する。
7	ソーシャルワークの定義と構成要素② (第2章I B)	ソーシャルワークの構成要素としての価値・知識・技術、人権擁護について理解する。 キーワード：パートレット、バイステック、かかわり、人と状況の全体性、信頼関係、共感と傾聴、権利、エンパワメント権利擁護、Y問題、クライアントの自己決定の原則	ソーシャルワークの基本となる価値、知識、技術、人権擁護について整理する。
8	ソーシャルワークの理念① (第2章II A、B、C)	人間尊重、社会正義、利用者主体の観点から、ソーシャルワークの理念を理解する。 キーワード：人間尊重、社会正義、利用者主体、エンパワメント、ストレングス視点、自己実現	人間尊重、社会正義、利用者主体について説明できるようにまとめる。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
9	ソーシャルワークの理念② (第2章II D、E)	尊厳の保持、権利擁護の観点から、ソーシャルワークの理念を理解する。 キーワード：世界人権宣言、国際人権規約、倫理的ジレンマ、権利擁護、パターナリズム、自己決定	尊厳の保持、権利擁護について押さえる。
10	ソーシャルワークの理念③ (第2章II F、G、H)	ソーシャルワークにおける自立支援、社会的包摂、ノーマライゼーションについて理解する。 キーワード：自立、ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、バンクミケルセン、ニイリエ、ソーシャルロールパロリゼーション	自立とは何か、社会的包摂、ノーマライゼーションについて説明できるようにまとめる。
11	ソーシャルワーク理論と展開過程① (第3章I A、B、C)	ソーシャルワークの歴史を理解する。 キーワード：エリザベス救貧法、慈善組織協会、ケースワーク論争	ソーシャルワークの歴史的背景について押さえる。
12	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第3章II A)	ソーシャルワーク理論について様々な観点から理解する。 キーワード：理論と実践の統合化、機能主義学派、診断主義学派、OJT、スーパービジョン、国際生活機能分類、実践モデル、医学モデル、生活モデル	ソーシャルワークにおける理論の位置づけについて押さえる。
13	ソーシャルワーク理論と展開過程③ (第3章II A)	ソーシャルワークの実践モデルについて理解する。 キーワード：社会生活技能訓練（SST）、社会的存在としての精神保健福祉士、クライアントとの協働関係、生活モデル、生態学的アプローチ、システム理論、エンパワメントアプローチ、ストレングス視点、ナラティブアプローチ	ソーシャルワークの様々な実践モデルについて理解し、説明できるようにまとめる。
14	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第3章II B)	ジェネラリストソーシャルワーク、グループワークの理論を理解する。 キーワード：ジェネラリストソーシャルワーク、グループワーク、コノプカ、コイル、社会諸目標モデル、相互作用モデル、治療モデル、ヴィンター	ジェネラリストソーシャルワーク、グループワークの理論を理解し、説明できるようにまとめる。
15	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第3章II)	コミュニティワークについて理解する。 キーワード：コミュニティオーガニゼーション、レイン、ニューステッター、ロス、ジェネラリストソーシャルワーク、地域生活の基盤、生活の概念	地域におけるソーシャルワークの概念を整理し、地域生活支援についてまとめる。

■レポート課題

1 単位め	「精神保健福祉援助技術総論」1 単位めに該当 わが国の精神保健の歴史の変遷を踏まえ、精神保健福祉士の国家資格化の意義について述べてください。 ※1,900字以上記述してください。
2 単位め	「精神保健福祉援助技術総論」2 単位めに該当 『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

(2018年度以前履修登録者) 2019年4月よりレポート課題の2単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題での提出は2020年9月で締め切りました。

■アドバイス

テキストは初めて学ぶ人にはやや困難な内容かもしれませんので、参考文献にも目を通し、調べ学習をしてください。また、「ソーシャルワーカーは足で稼ぐ」といわれているほど自分が一つの社会資源となって動くことが大切ですので、実際の現場に足を運ぶなど、目で見て確かめることもできれば行ってみてください。人とかかわる仕事をしていく上で、いかにコミュニケーションをとっていけるかはとても大切な能力です。自分がしたいことを相手に伝えること、わからないことを人に聞くことも大事なコミュニケーション能力です。

1 単位め
アドバイス

歴史的に起きた事件、制度改正を踏まえ、国家資格化が求められた経緯と意義についてまとめてください。

2 単位め
アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容を理解しているかどうかを評価の対象といたします。